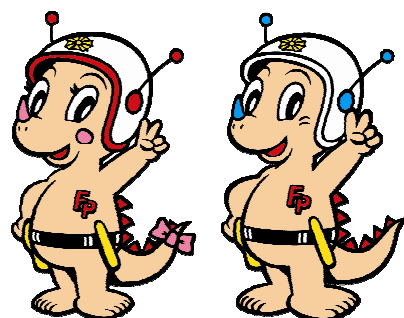


福井県公安委員会 開催概要

平成31年1月31日開催 「定例公安委員会」



会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 「あおり運転」による傷害事件等の検挙

県警察から、「あおり運転」による傷害事件等の検挙について報告があった。

委員から「あおり運転によって重大な事故が起きる可能性がある。厳格な対処をお願いする。」との発言があった。

委員から「あおり運転を実証するには、ドライブレコーダーの設置がないと水掛け論になる。ドライブレコーダーを付けましょうという啓発運動を展開していくことも、問題を少なくしていくことにつながると思う。」との発言があった。

委員から「ドライブレコーダーはいろいろな活用方法があり、これから浸透してくると思う。県警察からも機会を捉えてドライブレコーダーの設置を呼び掛けていただくと良い。」との発言があった。

(2) 平成31年度当初予算（案）等の概要

県警察から、平成31年度当初予算（案）及び平成30年度2月補正予算（案）の概要について説明があった。

委員から「アイデア豊かな事業内容の予算編成をしていただくことが、効果的な治安対策に生きると思う。また、現場の方々を働きやすくするための予算編成も大切だと思う。」との発言があった。

委員から「女性警察官を増やしていく取組が続いているので、少しでも良い環境で仕事ができるよう設備面の改善も含めて対応していただきたい。」との発言があった。

(3) 県青少年愛護条例改正案の上程

県警察から、青少年に児童ポルノの提供を求める行為の禁止及び有害情報の閲覧制限手続の厳格化を内容とする県青少年愛護条例改正案について説明があった。

委員から「条例の施行に向けた取組として、県民への周知はどのように実施されるのか。」との発言があり、県警察から「量販店等での広報啓発に取り組むとともに、

携帯電話事業者等との連携や、学校において被害防止教室を実施することにより周知を図る。」との説明があった。

委員から「児童の被害を押しえ込んでいただくよう取締りの強化をお願いする。」との発言があった。

委員から「インターネット上でのやりとりは保護者等の目に見えないところで行われ、把握が難しいのではないかと思う。被害の未然防止に取り組んでいただきたい。」との発言があった。

(4) 即戦力として対応可能な警察官の育成強化

県警察から、即戦力として対応可能な警察官の育成強化に向けた、初任科長期課程の学生に対する取組について報告があった。

委員から「時代に即応した教育内容は変わっていくと思う。警察学校を卒業し、厳しい現場である交番に配属された時に、ちゅうちょすることなく職務を執行できる能力を身につけられるよう育成し、優秀な人材を送り出していきたい。」との発言があった。

委員から「警察学校でいろいろな訓練が行われていることが分かった。卒業生を受け入れる側はこうした教育を無駄にしないよう、各現場で基本の再認識と実践を徹底することが必要だと思う。」との発言があった。

委員から「警察学校で学ぶことはたくさんあるが、現場でいずれ直面する事案を想定した実戦的現場訓練を盛り込むことは大切なことだと思う。引き続き今後もよろしく願います。」との発言があった。

2 個別決裁等

(1) 障害者雇用の取組状況

福井県警察における障害者雇用の取組状況について説明を受けた。

(2) 県下拳銃射撃大会開催要領説明

本年2月12日に開催される福井県警察拳銃射撃競技大会の要領について説明を受けた。

(3) 県政功労者表彰式開催要領説明

本年2月7日に開催される県政功労者表彰式の要領について説明を受けた。

(4) 平成30年12月中「警察あて苦情」

平成30年12月中に警察に寄せられた苦情の受理及び処理状況について報告を受けた。

(5) 平成30年度実地監査の結果

平成30年度における県下留置施設に対する実地監査の結果について報告を受けた。

(6) 自動車運転代行業営業停止命令処分に向けた弁明の機会の付与

自動車運転代行業者に対する営業停止命令処分に係る弁明の機会の付与について説明を受け、これを決裁した。

(7) 福井県道路交通法施行細則に基づく運転者の遵守事項違反に係る措置

僧侶による交通違反（運転者の遵守事項違反）に係る措置について説明を受けた。

3 運転免許の処分関係

本日（1月31日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取等9件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。